



# 日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会

主教 フランシスコ・ザビエル 高橋宏幸

牧師 司祭 ステパノ 卓志雄 主日勤務 執事 クラウ 佐久間恵子

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-6-18

電話 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698 電話礼拝 03-3431-0250

E-mail: st-andrew.tko@nssk.org HP: www.st-andrew-tokyo.com

**復活前主日 《棕櫚の主日》(赤) 2025年4月13日**

## 礼拝案内

＋午前7時30分 聖餐式

(午前7時25分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

説教：執事 佐久間恵子

聖歌 137 240 145

＋午前9時15分

こどもとともにささげる礼拝

司式・お話：執事 佐久間恵子

聖歌 137 240 145

＋午前10時30分 聖餐式 (みことばと陪餐)

(午前10時10分 礼拝奉仕者の祈りの集い)

司式：司祭 卓志雄

棕櫚の行列 (午前10時25分・中庭に集合・週報5頁)

入堂聖歌 137

特祷 (復活前主日)

## み言葉

旧約聖書 イザヤ書 50章 4-9a 節

詩編 第31編 9-16 節

使徒書 フィリピの信徒への手紙 2章 5-11 節

福音書前聖歌 140

福音書 ルカによる福音書 23章 1-49 節

説教：執事 佐久間恵子

ニケヤ信経 9頁(166頁)

代祷 (週報2面) 12頁(168頁)

## 聖餐

平和の挨拶 15頁 (171頁)

奉献聖歌 150

奉献 15頁 (172頁)

感謝聖別 16頁 (173頁)

陪餐 24頁 (180頁)

陪餐聖歌 240

感謝 28頁 (182頁)

祝福 28頁 (183頁)

派遣

退堂聖歌 145

＋午後5時 夕の礼拝

司式：執事 佐久間恵子 聖歌 512

詩 103 ゼカ 12:9-11,13:1,7-9 マタ 21:12-17

## 礼拝参加にあたって

※礼拝は教会ホームページより動画で配信されています。

(映像に映りたくない方は、その旨お伝えください。)

※手洗い場や消毒液をご活用ください。マスクの着用をおすすめしますが、状況・体調等に応じて各自ご判断ください。

※聖卓のろうそくの点灯中、礼拝前後(10分程度)は黙想の時間です。聖堂内で静粛に、会話や挨拶もお控えください。

※礼拝中の席の移動はお控えください。平和の挨拶もそれぞれの席からいたします。

※献金・信施は、礼拝中にまわってくる献金袋に、または受付台付近の献金箱におささげください。

※聖餐式での陪餐の際、案内に従って中央通路を左右2列で聖卓に進みます。洗礼を受け、陪餐の許しのある方は、口または手のひらで分餐奉仕者からパン、またはぶどう酒に浸したパンを受けます。また祝福を希望される方も同様に進みます。

※聖公会以外の教会で洗礼を受けて、聖餐に与っている方の陪餐(聖体拝領)を許可し歓迎します。

※陪餐後は、席に最も近い通路部分を通して席に戻ります。

※聖堂内での移動が難しい方、配信に映りたくない方は、分餐奉仕者がお席あるいは聖堂後方まで参りますので、遠慮なくお知らせください。

※体調や気分の不調のとき、また何かわからないことなどありましたら、遠慮なく受付案内の係までお声をおかけください。

## 本日の代祷 <敬称略>

一同着席する。

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

※（ ）内は音読しなくてもよい。

<わたしたち教会 - 全公会のため>

代祷者 神よ、主の公会、ことに

[聖アンデレ教会 (ステパノ 卓志雄司祭、クララ 佐久間恵子執事、トマス 日高馨輔執事)]

わたしたち教会の宣教・奉仕の働き、

教会に関わる諸団体

[東京教区(フランシスコ・ザビエル高橋宏幸主教)]

月島聖公会、

月島聖ルカ保育園、

カパティラン

[東日本宣教協働区 (北海道・東北・北関東・東京教区)]

浦和諸聖徒教会 聖堂聖別記念日 4月17日

[日本聖公会(首座主教 ダビデ 上原榮正 主教)]

京都教区の全ての働き

[アメリカ聖公会メリーランド教区

(ユージン・テラー・サットン主教)]

クッキーズヒル シャーウッド教会

グレンコー イマヌエル教会

[エルサレムおよび中東聖公会

(ホサム・ナウム大主教)]

イルビッド 洗礼者聖ヨハネ教会

[全世界の聖公会]

英国聖公会

[日本キリスト教協議会 (NCC) の働き]

を強めて、み子のみ業を行わせてください。

すべての聖職と信徒、ことに私たちの主教

フランシスコ・ザビエルを導き、み名を呼ぶ

者を主の真理と愛のうちに一致させ日々主の

栄光をこの世に現す者とならせてください

会衆 主よ、お聞きください

<平和と正義の実現のため>

代祷者 神よ、すべての国の人びと、ことに中東やウクライナなどの戦争・紛争の終結、世界の平和と和解の実現のため、日本国と世界各国・地域の人びと、ことにそれらの指導的立場の人びと

に知恵を与えて正義と平和の道に導いてください互いに尊敬する心を与え、ともにすべての人の幸いを求めさせてください

会衆 主よ、お聞きください

<隣り人のため>

代祷者 神よ、わたしたちと家族、すべての友人と隣り人、ことに、

日々を共に暮らし、また離れて暮らすそれぞれの家族、友人、同僚、心にかけている人びと、

聖アンデレ教会に連なるすべての人びと、

入信を希望している人々、洗礼、堅信、初陪餐、結婚の準備をしている人びと、さまざまな理由によって教会から離れている人々、この地域で生活し、働いている人びと、生命(いのち)の問題、困難な人びとを支える働きに関わる人びと(浅草聖

ヨハネ教会日曜給食活動、聖公会野宿者支援活動・渋谷)、

4月の代祷・信施奉獻先となっている働き・団体、ことにエルサレム教区(全聖公会決議)、

児童養護施設(エリザベスサンダースホーム、福光会児童養護施設子どもの園)、

月島聖ルカ保育園(ひかりの子)、

カルト問題キリスト教連絡会(日本基督教団内)

に恵みを与え、ともに主を知り、主に仕え、互いに愛することができるようにしてください

会衆 主よ、お聞きください

<困難な状況にある人のため>

代祷者 神よ、悩む人、悲しむ人、病気の人、貧しい人、その他災いの中にある人びと、ことに

感染症の収束のため

[病床にある人・自宅療養中の人・別紙参照]、

北陸の震災の被災者、世界各地の自然災害の被害のため困難な状況にある人びと、ことに地震

により被災地になったミャンマーの人びと、

住む場所を追われた人びと、

自由を奪われ拘束されている人びと、  
戦争や暴力、犯罪や差別に苦しむ人びと  
を顧み、み力を与えて、勇気と希望を増し加え、  
主の救いの喜びに導いてください  
会衆 主よ、お聞きください

<逝去者のため>  
代禱者 神よ、世を去ったすべての人、ことに  
それぞれが覚える逝去者  
[今週逝去の記念日を迎える人(=別紙参照)]  
暴力や犯罪、災害の犠牲となった人  
を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてくだ  
さい。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えら  
れた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、  
わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ國  
の栄光にあずからせてください  
一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリスト  
によってお願いいたします アーメン

\*\*\*\*\*

- ◇ 聖堂の様子は動画配信されています。聖アンデレ教会ホームページの「礼拝ライブ配信」をクリックすると見ることができます。また主日・週日の礼拝は、上の動画配信の他、礼拝電話(03-3431-0250)で音声を聴くことができます。
- ◇ 礼拝後の黙想のあと、有志での聖堂のお掃除をしています。清掃後の座席の整列にもご協力をよろしくお願いいたします。
- ◇ 教会建物内へのネズミの侵入を防ぐため、各ドアは、都度、必ずお閉めください。

## <お知らせ>

- ◇ 本日 10 時半の礼拝冒頭で、聖オルバン教会と合同の「棕櫚の行列」を行います。10 時 25 分に教会中庭・スカウトハウスの前にお集まりください。(週報、貴重品をお持ちください。)移動が困難な方は聖堂でお待ちください。
- ◇ 本日、10 時からイースターガーデンを作ります。どうぞご参加ください。
- ◇ 聖週、復活日の礼拝については、別紙案内をご覧ください。
- ◇ 4 月 19 日(土) 18 時から行われる聖土曜日の礼拝は、復活の喜びを待ち望む大切な礼拝です。こぞってご参加ください。
- ◇ 復活日の礼拝の際、卒業、入学を迎える方々を覚えて祈ります。
- ◇ 東京教区から「2025 年み言葉と歩む大斎節」が発行されました。東京教区の HP でご覧いただけますが、教会の入り口にも置いてありますので必要な方はお取りください。毎日み言葉を分かち合いましょう。
- ◇ 聖アンデレ教会のピンバッジは現在在庫切れですが、4 月半ば以降再入荷の予定です。
- ◇ 葬儀のしおりとエンディングノートを配布しています。ご希望の方はお取りください。
- ◇ ご家族・少人数での記念式や礼拝参加、牧会訪問、自宅や病床での陪餐を希望される方は教会までご遠慮なくご連絡ください。
- ◇ 聖堂の扉は、日中(朝 7 時頃から夕方 5 時頃・礼拝時間を除く)開いています。個人の祈りや黙想が可能です。

聖アンデレ教会広報チャンネルでは、様々な情報を配信中です。また、フェイスブックページから折々の教会の様子やお知らせをお伝えしています。右の QR コードからご覧ください。



ホームページ



Facebook



広報チャンネル



Instagram

毎主日 10 時半の聖餐式での  
「聖書朗読(旧約聖書、使徒書)」を信徒の皆さんで分担しませんか —  
み言葉を皆さんの前で声を出して読むことは、素晴らしい恵みです。ご自分の受洗や堅信の記念日、結婚記念日、誕生日、ご家族の逝去記念日などを迎える主日に是非ご奉仕くださいますようお願いいたします。ご希望の方は、聖堂受付付近の表にお名前をご記入ください。よろしくお願いいたします。

## 本日・今週の予定

4月13日(日) 復活前主日

7時半 聖餐式  
9時15分 こどもとともにささげる礼拝  
10時半 聖餐式(みことばと陪餐)  
17時 夕の礼拝

- ・10時 イースターガーデン作り
- ・13時 聖歌隊練習
- ・13時 JAZZ コンサート打ち合わせ
- ・14時 ウクライナ正教会 棕櫚の行列(駐車場)

14日(月) 復活前月曜日 7時半礼拝

イザ 42:1-9 詩 36:5-11 ヘブ 9:11-15 ヨハ 12:1-11

卓司祭在室(午前)

15日(火) 復活前火曜日 7時半礼拝

イザ 49:1-7 詩 71:1-14 I コリ 1:18-31 ヨハ 12:20-36

- ・10時 英会話クラス

16日(水) 復活前水曜日 7時半礼拝

イザ 50:4-9b 詩 70 ヘブ 12:1-3 ヨハ 13:21-32

10時半 教区教役者逝去者記念聖餐式  
13時 逝去者記念礼拝

17日(木) 聖木曜日 7時半の礼拝はありません

出 12:1-4,11-14 詩 116:1-2,11-18  
I コリ 11:23-26 ヨハ 13:1-17,31b-35

11時 聖油聖別の聖餐式・司祭按手の約束の更新  
(於:大宮聖愛教会)

19時 聖木曜日礼拝(洗足式)

18日(金) 聖金曜日(受苦日) 7時半礼拝

イザ 52:13-53:12 詩 22  
ヘブ 10:15-25 ヨハ 18:1-19:42

正午 聖金曜日礼拝

19日(土) 聖土曜日 7時半礼拝

ヨブ 14:1-14 詩 31:1-4,15-16  
I ペト 4:1-8 マタ 27:57-66

18時 聖土曜日の礼拝

- ・14時~ エッグハンティング準備

20日(日) 復活日

7時半 聖餐式  
10時半 聖餐式・洗礼式

使 10:34-43 詩 118:1-2,14-24  
I コリ 15:19-26 ヨハ 20:1-18  
聖歌 159,175,274,179,260,160

13時半 こどもとともにささげるイースター礼拝

17時 夕の礼拝 聖歌 363

詩 113,114 イザ 51:9-11 ルカ 24:13-35

14時半 教会委員会

大齋プログラム「今こそ聴こうー礼拝について」のアンケートに基づくQ&Aシリーズを、4月27日から、第2主日を除く毎週報に掲載します。同時に、礼拝後に卓司祭よりワンポイント解説も行われる予定です。お楽しみに！

## 今週のメッセージ

ついに私たちはイエス様のエルサレムへの入城の記念とイエス様のご受難を覚える「聖週」の主日を迎えました。

エルサレムに到着されてからイエス様に何が起こったか、私たちは知っています。マルコによる福音書によってその流れを辿ると、それはイエス様の逮捕で始まります。そして最高法院(ユダヤ教の最高決定機関)による非常に理不尽な裁判を受けられました。それから一番弟子シモン・ペトロのイエスの否定とユダヤ総督・ピラトによる死刑判決、ゴルゴタへの道行き、そして十字架への磔とイエス様の絶命と葬りという経過をたどってゆきます。私たちは何度も、このイエス様のご受難の物語を聞いたことでしょう。

そこには考えられないほどの「理不尽」があり、「妬みと悪意」があり、「神を恐れず、神に聞き従おうとしない態度」が満ちています。「神を信じ、神に仕えている」と言いながら、これほどまでに神のみこころに耳を傾けていない態度はないと思えます。

しかし、これすらも神の深遠なご計画であったのかもしれないと、イザヤ書の書き残している「苦難の僕」の姿を知れば知るほど思えます。「苦難の僕」はイエス様ご自身のことを預言しているのではないだろうか。傷つき、侮辱され、多くの人びとから嘲られ捨てられる「苦難の僕」はイエス様です。そして、「苦難の僕・イエス様」が、とてつらい苦難をその身に引き受けられるのは、ただひたすらに「私たちの罪のため」私たちの弱さやずるさの代償なのです。イエス様を痛めつけているのは、ローマの兵隊ではありません。ユダヤ教の指導者たちでもありません。もちろん「十字架につけろ」と叫んだ群衆でもありません。イエス様に傷を負わせ、打ちたたき、侮辱を受けさせたのは私たちです。私たちの罪、私たちの暗さ、弱さがイエス様をそんなお姿にさせたのです。

それでも私たちの主は復活されます!私たちの罪を贖い、罪から解放するために死を打ち砕き、私たちの罪を贖ってください。聖週の一週間、私たちの罪深さのために痛みをお引き受けくださったイエス様に、今一度深く思いを寄せ、真実の悔い改めと贖いのしるとなってくださったことへの感謝に潜心いたしましょう。

(執事 佐久間恵子)

## 主のエルサレム入城の記念

しゅろの十字架の祝別と分与

10時半の礼拝では、5分前の鐘がなったら駐車場スカウトハウス前に集まってください。聖オルバン教会の方々と一緒に、敷地内を行進します。

7時半の礼拝では適宜ご案内いたします。自席でお待ちください。行進が困難な方は、礼拝堂の中でお待ちください。

モイアー司祭： Blessed is he who comes in the name of the Lord.

[Japanese Translation: ほめたたえよう、主のみ名によって来る王。]

**All: Peace in heaven, and glory in the highest.**

[Japanese Translation: 天には平和いと高きところには栄光があるように]

モイアー司祭： This morning begins the Great Week of the Christian Year. During Lent we have been preparing by works of love and self-sacrifice for the celebration of the Lord's death and resurrection. With Christians throughout the world, we come together this week to call to mind, and to express in word and action, the center of the Easter mystery: our Lord's Passover from death to life. Christ entered in triumph into the Holy City to complete his work as Messiah: to suffer, to die and to rise to new life. Today we commit ourselves to walk the way of the cross, so that, sharing his sufferings, we may be united with him in his risen life.

[Japanese Translation: キリストにあって愛する兄弟姉妹よ、大齋節の間 わたしたちは愛と自己犠牲のわざによって、主の死と復活の恵みにあずかる準備をして来ました。今、わたしたちは世界の全公会と共に、主のエルサレム入城を記念するために集っています。主イエス・キリストは苦難と死、および復活によって、救い主としてのみ業を完成するためにご自身の街エルサレムに入城されました。信仰と愛をもって主と共に歩み、主の苦難と復活の命にあずかりましょう。]

佐久間執事： 祈りましょう。わたしたちの救い主である神よ、憐れみをもってわたしたちを助け、わたしたちに永遠の生命を与えるためにくださったみ業を、わたしたちの心に喜びをもって深く覚えさせてください。主イエス キリストによってお願いいたします。

[English Translation: *Let us pray.*

*Assist us mercifully with your help, O Lord God of our salvation, that we may enter with joy into the contemplation of those mighty acts, whereby you have given us life and immortality; through Jesus Christ our Lord]*

会衆： アーメン

All: Amen

モイアー司祭： It is right to praise you, Almighty God, for the acts of love by which you have redeemed us through your Son Jesus Christ our Lord. On this day he entered the holy city of Jerusalem in triumph, and was proclaimed as King of kings by those who spread their garments and branches of palm along his way. Let these branches be for us signs of his victory, and grant that we who bear them in his name may ever hail him as our King, and follow him in the way that leads to eternal life; who lives and reigns in glory with you and the Holy Spirit, now and for ever.

[Japanese Translation: 全能の神よ、み子、主イエス・キリストによってわたしたちを贖ってくださった愛のみ業に、賛美をささげることがわたしたちの正当な務めです。この日、主イエスは掌理のうちに聖なる都エルサレムに入城されました。人々はその上着と棕櫚の葉を道に敷き、主イエスを王の王とあがめて迎えました。

これらの棕櫚の葉を祝別して、主イエスの勝利のしるしとし、み名によってこの葉をかざすわたしたちが、み子をわたしたちの王とほめたたえ、み子に従って生き、永遠の生命をとものにすることができるよう、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。]

会衆： アーメン

All: Amen

福音書 朗読 A Reading from the Gospel of John

佐久間執事： 主は皆さんとともに

[English Translation: *The Lord be with you*]

会衆： また、あなたとともに

[English Translation: *All: And also with you*]

佐久間執事：聖なる福音は、聖ヨハネによる福音書第12章12節より

その翌日、祭りに来ていた大勢の群衆は、イエスがエルサレムに来られると聞き、なつめヤシの枝を持って迎えに出た。そして、叫び続けた。「ホサナ。主の名によって来られる方に、祝福があるようにイスラエルの王に。」イエスは仔驢馬を見つけて、お乗りになった。次のように書いてあるとおりである。「シオンの娘よ、恐れるな。見よ、あなたの王が来る。ろばの子に乗って。」

弟子たちは最初これらのことが分からなかったが、イエスが栄光を受けられたとき、それがイエスについて書かれたものであり、人々はそのとおりイエスにしたのだということを思い出した。

< *The same reading is repeated in English* >

モイアー司祭：A reading from the Gospel according to St. John, Chapter 12, beginning at verse 12.

The next day the great crowd that had come to the festival heard that Jesus was coming to Jerusalem. So they took branches of palm trees and went out to meet him, shouting, Hosanna! Blessed is the one who comes in the name of the Lord the King of Israel! Jesus found a young donkey and sat on it; as it is written: Do not be afraid, daughter of Zion. Look, your king is coming, sitting on a donkey colt!

His disciples did not understand these things at first; but when Jesus was glorified, then they remembered that these things had been written of him and had been done to him.

*Here the palm crosses are distributed to the congregations.*

ここで棕櫚の葉の十字架は会衆に配られます。

佐久間執事：主なる神に感謝しましょう。

[English Translation : Let us give thanks to the Lord our God.]

会衆：感謝と賛美はわたしたちの務めです。

[English Translation : All: It is right to give him thanks and praise.]

佐久間執事：主イエスを歓呼のうちに、エルサレムに迎えた群衆にならって、わたしたちも救い主イエスをたたえながら、主の過ぎ越しの記念を行うためにいきましょう。イスラエルの王ダビデの子にホサナ。

会衆：ほめたたえよ、主のみ名によって来られる方を、いと高きところにホサナ

< *The response is repeated in English.*

英語でもう一度同じ祈りを繰り返す>

モイアー司祭：Just as the people who welcomed our Lord Jesus to Jerusalem, let us praise our Savior Jesus and go forward to celebrate His Passover. Hosanna to the Son of David, the King of Israel.

All: Blessed is he who comes in the name of the Lord. Hosanna in the highest.

## The Procession 行列

モイアー司祭：Let us go forth in peace.

People: In the name of Christ. Amen.

< *This is repeated in Japanese.*

日本語でもう一度同じ祈りを繰り返す>

佐久間執事：主とともに行きましょう

会衆：主のみ名によって アーメン

*The priest will sprinkle palms & people with holy water to bless the people and their palms as they process.*

司祭は会衆と棕櫚の葉に聖水を振りかける

一同は、スカウトハウス前から礼拝堂の入り口に向かいます。その間、行列をしながら、下記の歌を歌います。

雨天の場合は、聖アンデレホールに集合し、屋根のある場所を通って礼拝堂に戻ります。

礼拝堂に入ってから、聖歌137番(週報8ページ)を歌います。

歌いながら自席へお着きください。

聖歌の後は特禱に移ります。

ホサーナ、ホサーナ、ダビデの子にホ  
 Ho - san - na, ho - san - na, ho - san-na to the Son of

サーナ。ホサーナ、ホサーナ、ホ  
 Da - vid. Ho - san - na, ho - san - na, ho -

サナ おうの おう。  
 san - na to the King of Kings.



*Hosanna! Blessed is He who comes in the name of the Lord*

ユダのわらべのほめしイエスに

ほまれとさかえ世々にあれと

*Fine*

1 たみはころもをみちにしきて  
2 死のくるしもをにちかづく主を  
3 かみの名によりにきたるイエスは

こえだをかか-げむれしたたごう  
「ホサナをホサナ」-とほめたたたえぬ  
地のほはてまで-もおさめたたも

*D.C.*

7676D